

# HYOGO VISION 2050

## Report

「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査令和6年調査結果

誰もが希望を持って生きられる

一人ひとりの可能性が広がる

『躍動する兵庫』

兵 庫 県

兵庫県では、2050年頃の兵庫のめざす姿を描く「ひょうごビジョン 2050」を令和4年3月に策定しました。

10,000名を超える県民の声から、県民が共有する5つの社会と15の将来像を描き出しています。

私たちがめざすのは、「誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」です。

「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができ、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを両輪にして『躍動する兵庫』を実現していきます。

ビジョンを実現するためには、県民、企業、団体など、多様な主体が役割を分担し、補完し合いながら共に取り組む連携が欠かせません。ビジョンに共感し、共に行動する連携の輪が広がるほど、めざす姿の実現に向けた推進力は高まります。

兵庫県では、ビジョンが指し示す将来像ごとに、統計や事業量では測りきれない生活の質や豊かさを明らかにするための主観指標「兵庫のゆたかさ指標」を設定し、指標による県民意識調査をもとに、ビジョンの実現状況を毎年度点検・評価しています。

このレポートは、県民意識の動向やビジョンの推進状況、県の施策などについて広く知っていただき、より良い未来の実現のために考え、取組に参画していただくため、「兵庫のゆたかさ指標」による県民意識調査の結果をダッシュボード化して公表するものです。各地域、各分野で取組を進めていく際の参考にしていただきたいと考えています。

HYOGO  
VISION  
2050



ポータルサイト



YouTube チャンネル



# 1 ひょうごビジョン 2050 の概要

- 2022年3月、社会が大きく変化する中、兵庫のめざす姿を改めて明らかにするため、「ひょうごビジョン 2050」を策定しました。
- 10,000人を超える県民の声を聴取し、県民との意見交換を重ねながら検討を進めました。

## 【ビジョンの概要】

### 基本的な性格

- 県民が共にめざす姿を描く
- 県民が主役になり、地域から取り組む
- 変化を生み出し、成長する

### 展望年次

- 私たちの子や孫が生きる30年先の2050年頃のめざす姿を描く

### 県政上の位置づけ

- 県が進める政策の羅針盤として運用

### 全県と地域

- 全県ビジョンと一体的に9つの地域ごとの地域ビジョンを策定

## 【策定の視点】

### 県民の思い

- 多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を
- 自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を
- 人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を
- 未来を担う次代のために社会の「持続」を

### 大事にしたい マインド 「開放性」

- 県民の思いに共通するのは、「開放性」の高い社会への強い願い
- 「開放性」は兵庫ならではの強みであり、今後も伸ばすべき特性
- 兵庫の未来は「開放性」をキーワードに描き、取り組むものに

### ビジョンの描き方

- 人口減少、テクノロジーの進化など社会変化の潮流を前提にして、未来社会で営まれる生活や社会経済活動のめざす姿を描く

# ひょうごビジョン 2050 が描く「兵庫のめざす姿」

2050年の  
兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる  
一人ひとりの可能性が広がる

包摂

×

挑戦



躍動

『躍動する兵庫』

5つのめざす社会

I 自分らしく生きられる社会	① 自由になる働き方 ② 居場所のある社会 ③ 世界へ広がる交流
II 新しいことに挑戦できる社会	④ みんなが学び続ける社会 ⑤ わきあがる挑戦 ⑥ わきたつ文化
III 誰も取り残されない社会	⑦ みんなが生きやすい地域 ⑧ 安心して子育てできる社会 ⑨ 安心して長生きできる社会
IV 自立した経済が息づく社会	⑩ 循環する地域経済 ⑪ 進化する御食国 ⑫ 活動を支える確かな基盤
V 生命の持続を先導する社会	⑬ カーボンニュートラルな暮らし ⑭ 分散して豊かに暮らす ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができ、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを両輪にして『躍動する兵庫』を実現していきます。

## 2 兵庫のゆたかさ指標

---

### (1) 趣旨

ひょうごビジョン 2050 が掲げる将来像ごとに、統計や事業量では測りきれない生活の質や豊かさを明らかにするための主観指標「兵庫のゆたかさ指標」を設定し、指標による県民意識調査の結果をもとに、ビジョンの推進状況を点検・評価する。

### (2) 調査方法（県民意識調査）

- ・ 設 問 数 : 48 項目（全体評価（4 項目）及びめざす姿ごとの評価（各 2～3 項目）で構成）
- ・ 調査期間 : 令和 7 年 6 月 10 日から 7 月 9 日
- ・ 対 象 者 : 県内に居住する満 18 歳以上の男女個人 5,000 人（無作為抽出）
- ・ 標本抽出及び集計方法
  - ① 住民基本台帳に記載された県民を対象
  - ② 10 の地域（県民局単位）ごとに 500 の標本数を、市町別・男女別・年齢 10 歳階級別の母集団構成比に応じて配分
  - ③ 地域ごとの有効回答数について、重み付け集計により、全県の母集団構成比を復元
- ・ 回 収 率 : 42.4% (2,120/5,000)
- ・ 有効回答数 : 2,093

### (3) 評価方法

調査項目ごとに 5 段階で得られた回答（1. そう思う～5. そう思わない 等）を肯定的なものから 5 点～1 点に点数化し、これを 10 点満点に換算（最高点 10 点、中間点 6 点、最低点 2 点）

【県民意識調査の設問項目】

	めざす姿		調査項目(ゆたかさ指標)
全体評価	総合的 生活満足度	1	あなたは、全体として、今の生活に満足していますか。
		2	あなたは、全体として、将来の生活に不安を感じますか。
		3	あなたは、住んでいる地域のことに関心がありますか。
		4	あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか。
自分らしく 生きられる社会	①自由な 働き方	5	多様な働き方を選択しやすい社会だと思いますか。 キーワード:テレワーク、在宅勤務、フレックスタイム、副業など
		6	自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思いますか。
		7	あなたは、しごとと自分の生活の両立ができていますか。
	②居場所 のある社会	8	あなたには、職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場がありますか。 キーワード:サークル、スポーツクラブ、コミュニティカフェなど
		9	あなたは、住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがありますか。
		10	あなたには、知人や親戚など頼りになる人が近所にいますか。
	③世界へ 広がる交流	11	お住まいの地域には、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)がありますか。
		12	あなたは、外国の文化や人々と接してみたいと思いますか。
		13	お住まいの地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思いますか。
	新しいこと に挑戦できる社会	④みんなが 学び続ける 社会	14
15			あなたには、目的を持って学んでいるものがありますか。
16			新たな知識や技能を身につけたり、専門性をみかくために、だれもが学びたいときに学び直すことのできる社会になっていると思いますか。
⑤わきあがる 挑戦		17	若者が希望を持てる社会だと思いますか。
		18	商売、事業を新たに始めやすい社会だと思いますか。
		19	あなたは、ボランティアなどで社会のために活動していますか、またはしてみたいですか。
⑥わきたつ 文化		20	あなたは、暮らしの中でスポーツをしたりスポーツ観戦を楽しんだりしていますか。
		21	あなたは、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていますか。
		22	お住まいの地域では、伝統芸能・文化などが受け継がれていると思いますか。 キーワード:祭りなどの年中行事、民謡・民舞、能、歌舞伎、伝統工芸など

	めざす姿		調査項目(ゆたかさ指標)
誰も取り 残され ない社会	⑦みんな が生きやす い地域	23	孤立しがちな人を生まないように気をかけあう社会であると感じますか。
		24	ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいると思いますか。 キーワード:セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメントなど
		25	お住まいの地域には、年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思いますか。
	⑧安心して 子育てでき る社会	26	子育てとの両立がしやすい労働環境が整っている社会だと思いますか。
		27	お住まいの地域には、地域で子どもを見守り育てる環境がありますか。
		28	お住まいの地域では、安心して楽しく子育てできると思いますか。
	⑨安心して 長生きでき る社会	29	あなたは、心身ともに健康であると感じますか。
		30	お住まいの地域には、安心できる医療の環境が整っていると思いますか。
		31	お住まいの地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思いますか。
	自立した 経済が息づ く社会	⑩循環す る地域経 済	32
33			お住まいの地域の企業に活気があると思いますか。
34			お住まいの地域には、優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っていますか。
⑪進化す る御食国		35	地元や県内の農林水産業に活気があると思いますか。
		36	あなたは、地元や県内でとれた野菜、果物、魚介類、肉などの食材を買っていますか。
		37	あなたは、食品廃棄物をできるだけ出さない暮らしを心がけていますか。 キーワード:食品ロス、フードロス、食べ残し、賞味期限など
		38	あなたは、家庭で災害に対する自主的な備えをしていますか。
⑫活動を 支える確 かな基盤	39	お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせると思いますか。	
	40	お住まいの地域の公共交通は便利であると思いますか。	
	生命の持 続を先導 する社会	⑬カーボン ニュート ラルな暮 らし	41
42			あなたは、日頃から節電・省エネに取り組んでいますか。
43			あなたは、製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいきますか。
⑭分散して 豊かに暮 らす		44	あなたは、住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか。
		45	あなたは、住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加していますか、または参加したいと思いますか。
		46	ICT(情報通信技術)などにより、どこにいても便利に暮らせる社会になってきていると思いますか。 キーワード:ビデオ通話、テレワーク、オンラインショッピング、オンライン診療など
⑮社会課 題の解決 に貢献す る産業	47	お住まいの地域には、生活の不便さを補うさまざまなサービスが増えていると思いますか。 キーワード:買物代行、移動販売、配食サービス、送迎サービスなど	
	48	兵庫県は、社会を先導する新しい産業が活発な県だと思いますか。 キーワード:先端医療、ロボット、環境、エネルギー、新素材、IT、航空宇宙産業など	

### 3 令和7年「兵庫のゆたかさ指標」 県民意識調査結果



# 全体評価 総合的満足度について

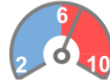
評価の概要

- 「全体として今の生活に満足か」の平均は6.79と、総合的な満足度は高い水準。
- 一方で、「将来の生活に不安を感じるか」については平均4.39と低い水準にあり、これは人口減少や、気候変動、物価高騰など、先行き不透明な社会情勢への不安等が影響と推測。
- 「住んでいる地域のことに関心があるか」については7.56と高く、また、「住んでいる地域にこれからも住み続けたいか」については8.26と、48の設問中もっとも高い評価。

## ■兵庫のゆたかさ指標

設問 1  
あなたは、全体として、今の生活に満足していますか。

全体平均

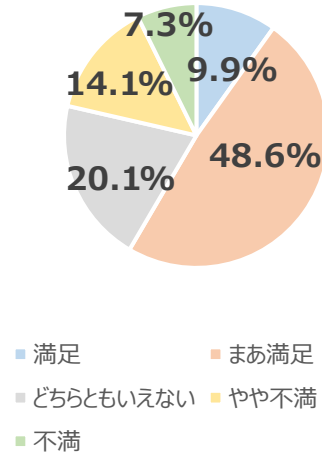


6.79

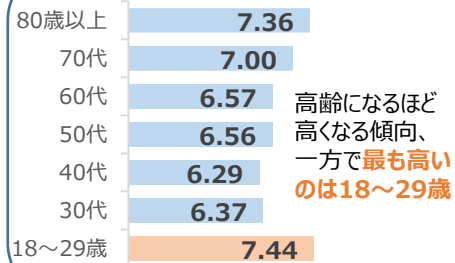
### 性別



### 回答割合

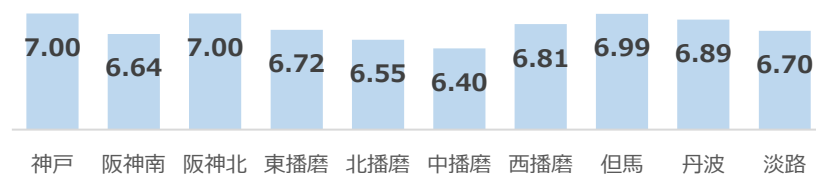


### 年齢別



### 地域別

地域による差は小さく、都市部と地方部間に顕著な差は見られない



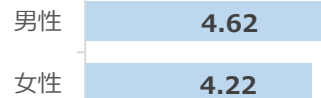
設問 2  
あなたは、全体として、将来の生活に不安を感じますか。

全体平均

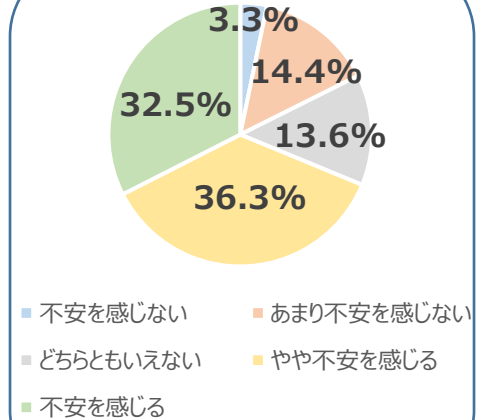


4.39

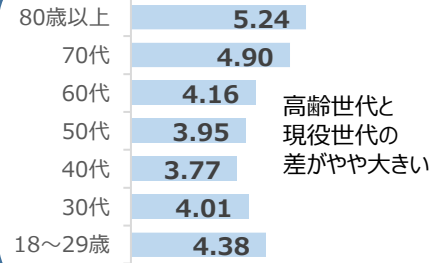
### 性別



### 回答割合

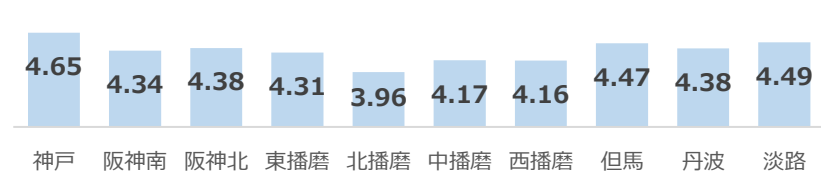


### 年齢別



### 地域別

地域による差は大きくないものの、どの地域も5点未満と、全体的に低い状況





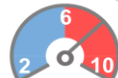
# 全体評価 総合的満足度について

## ■兵庫のゆたかさ指標

設問 3

あなたは、住んでいる地域のことに  
関心がありますか

全体平均

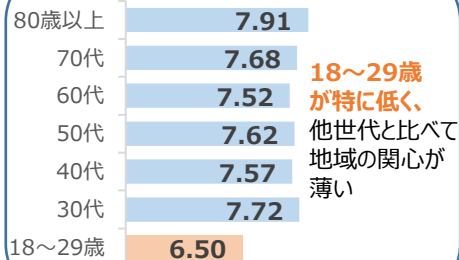


7.56

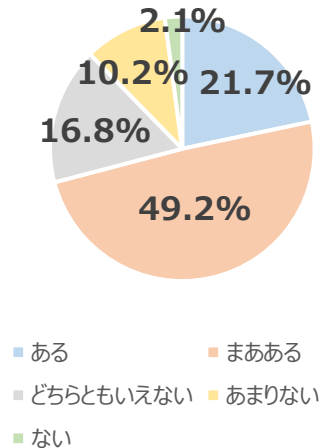
性別



年齢別



回答割合



設問 4

あなたは、住んでいる地域に  
これからも住み続けたい  
ですか

全体平均

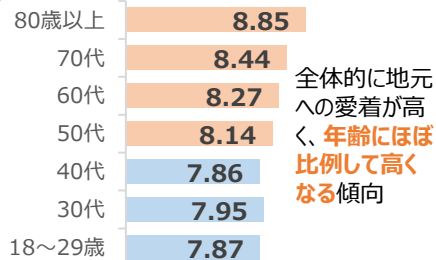


8.26

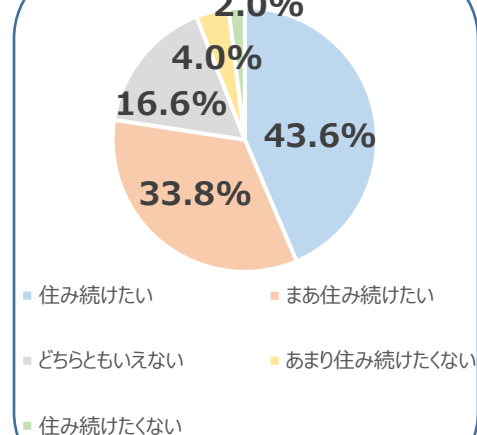
性別



年齢別

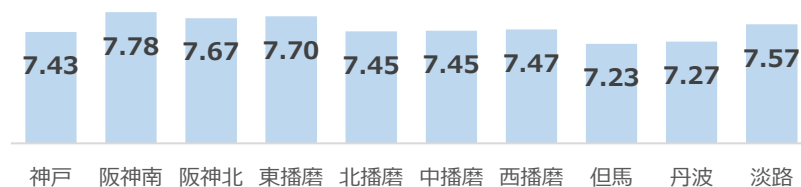


回答割合



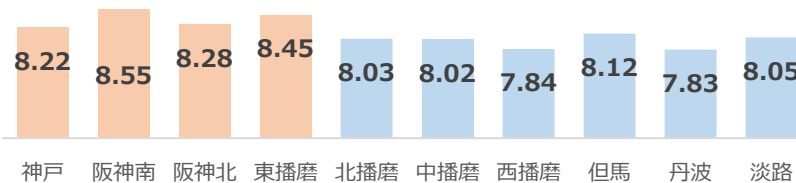
地域別

地域による差は大きくなく、都市部と地方部の間に顕著な差は見られない



地域別

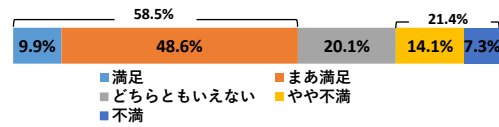
地域による差は大きくないものの、比較的都市部が高い傾向



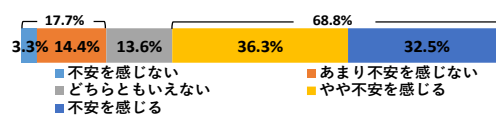
トピックス

若者の可能性を拓く

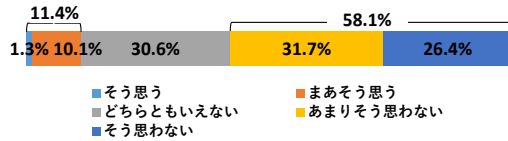
問1 あなたは全体として、今の生活に満足していますか



問2 あなたは全体として、将来の生活に不安を感じますか



問17 若者が希望を持てる社会だと思いますか



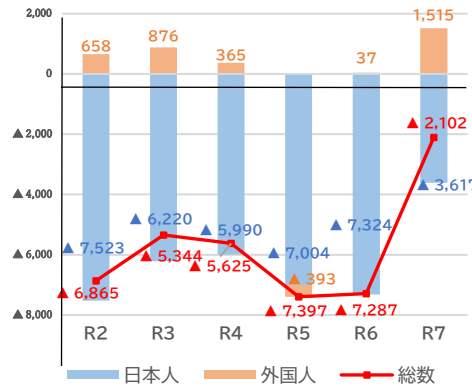
(年齢別)

18～29 歳	4.20	60 代	4.62
30 代	3.61	70 代	4.98
40 代	4.00	80 歳以上	5.38
50 代	4.32		

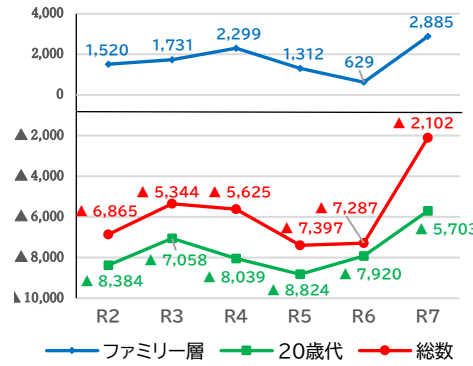
「今の生活」への満足度について、肯定的な回答は 58.5%と過半数ではあるが、「将来の生活」となると、「不安を感じる」「やや不安を感じる」を合わせて 68.5%と高い状況。

また、「若者が希望を持てる社会」についても肯定的な回答は少なく、特に若い世代が希望を持ちにくい社会と感じている状況が浮き彫りになっている。

◆若者の人口流出・ファミリー層の転入



出典：総務省「住民基本台帳移動報告」



出典：総務省「住民基本台帳移動報告」

R7 年における兵庫県の転出超過数は、依然として 2,102 人の転出超過ではあるものの、昨年に比べて +5,185 人と大幅に改善した。改善の大きな要因としては、20 歳代の転出超過の改善 (+2,217 人)、また、従来から本県の強みであったファミリー層(0～14 歳、30～40 歳代)の増加(+2,885 人)の影響が大きい。この流れを確かなものにしていくため、若者や子育て世代への支援を一層充実していく必要がある。

若者・Z世代応援パッケージ

若者が安心して将来設計を描くことができる環境を整備するため、教育、就職、出産・子育て、住まいまでライフステージに応じた切れ目のない支援を「若者・Z世代応援パッケージ」として展開

出生率が年々低下

就職・大学進学等を機に 20 歳代の若者が県外に転出

良好な住環境等を背景にファミリー層が転入超過

若者・Z世代応援パッケージ

めざす姿	主な取組内容
学びやすい兵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育環境の充実 県立学校施設の改修・修繕の拡充、私立高校における緊急修繕への支援</li> <li>○特色ある教育の磨き上げ 県立・私立高校の魅力向上、チャレンジ留学応援事業の強化</li> <li>○教育費の負担軽減 県立大学授業料等の無償化、兵庫型奨学金返済支援</li> </ul>
子どもを産み育てやすい兵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠・出産産後支援の強化 不妊治療支援、出産・健診等の安心アクセス支援</li> <li>○子育て環境の充実 地域限定保育士の導入、幼児教育の更なる質の向上</li> <li>○安全・安心な環境づくり 不登校支援員の拡充、子どもの遊び場の安全確保</li> </ul>
住みやすい兵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅・住環境の確保 県営住宅の供給・入居促進、民間住宅への入居促進</li> </ul>
働きやすい兵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者の就労支援の拡充 高校生・大学生等の県内就職支援、ケアリーバーや就業意欲のある若者等への支援強化</li> <li>○柔軟で多様な働き方の推進 ミモザ企業認定の推進、テレワークの環境整備支援</li> <li>○多様な分野への就労支援の強化 有機農業アカデミーの開講、ものづくり産業の魅力発信</li> </ul>

若者の県内定着、定住人口の増加

5つのめざす社会



## 自分らしく生きられる社会

めざす姿①

**自由になる働き方** いろいろな働き方を自分の意思で選ぶことができ 自分なりの役割を見出せる社会

めざす姿②

**居場所のある社会** みんなに人とつながれる居場所があり 孤独を感じないで暮らせる社会

めざす姿③

**世界へ広がる交流** 五国の多彩な魅力が人をひきつけ 国内外との双方向の交流が活発に行われる社会



自分らしく生きられる社会

# 自由になる働き方

## ■兵庫のゆたかさ指標

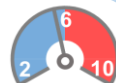
評価の概要

- 「多様な働き方を選択しやすい社会か」は年齢では若い世代が、地域別では都市部は高い。
- 「自分にあった就職や転職がしやすい社会か」も若い世代と都市部が高い傾向。多自然地域における人材の流動性に課題を感じられていることが伺える。
- 「しごとと自分の生活の両立ができてきているか」の平均は6.76とやや高めの評価となっており、ワーク・ライフ・バランスの実現については、全県的に一定の実感が見てとれる。

### 設問 5

多様な働き方を選択しやすい社会だと思いますか

全体平均

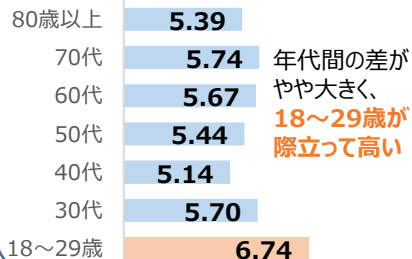


# 5.59

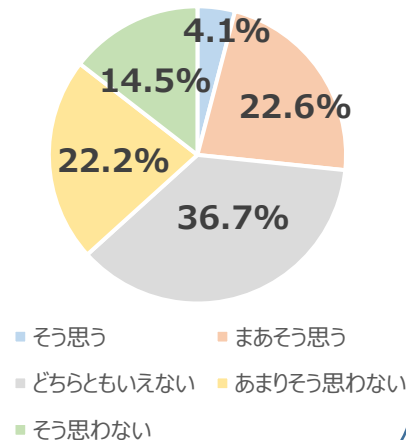
#### 性別



#### 年齢別

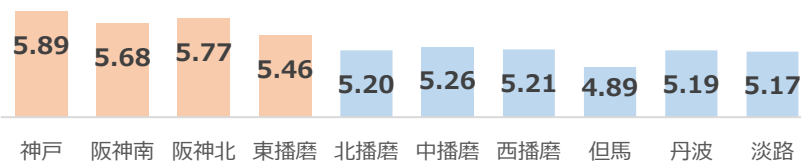


#### 回答割合



#### 地域別

地域による差はやや大きく、かつ、比較的**都市部が高い**傾向



### 設問 6

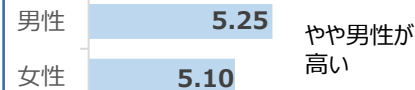
自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思いますか

全体平均

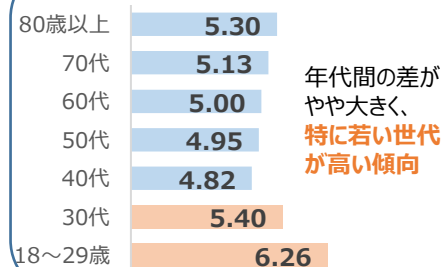


# 5.16

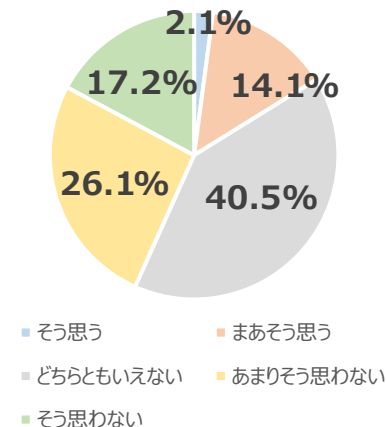
#### 性別



#### 年齢別

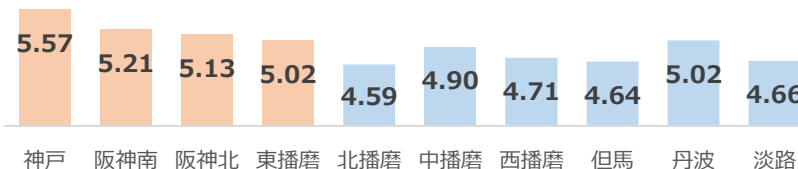


#### 回答割合



#### 地域別

地域による差は大きくないものの、比較的**都市部が高い**傾向





自分らしく生きられる社会

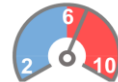
# 自由になる働き方

## ■兵庫のゆたかさ指標

設問 7

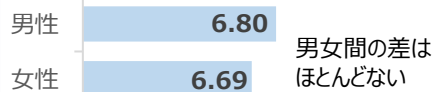
あなたは、しごとと自分の生活の両立ができていますか

全体平均

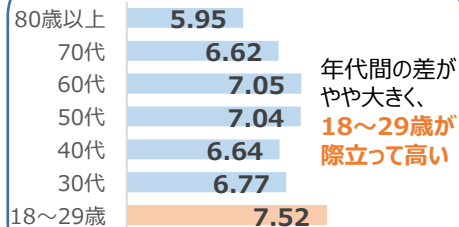


# 6.76

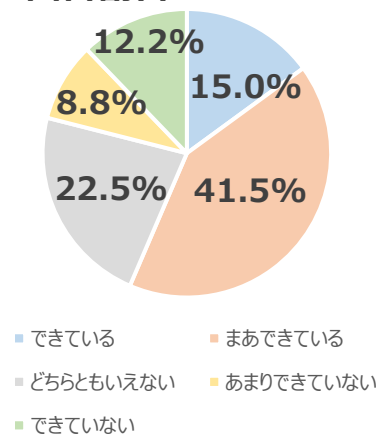
### 性別



### 年齢別

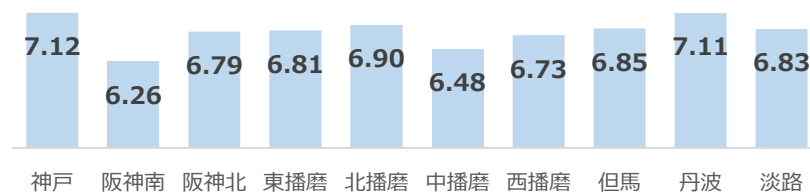


### 回答割合



### 地域別

地域による差は大きくなく、都市部と地方部の間に顕著な差は見られない



## ■主な県の取組

- 中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、「兵庫型奨学金返済支援制度」を設け、若手従業員の奨学金返済を支援している企業とその従業員に対し、補助を実施(R7利用企業数:312社、R7利用者数:1,504人)
- 女性活躍に積極的に取り組む企業を「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)」として認定するとともに、その普及促進を図るため、より取り組みやすい認定区分「フレッシュミモザ企業」を設定(R7認定企業数 ミモザ:46社、フレッシュミモザ:95社)
- 「ひょうごで働こう!マッチングサイト」の運営をはじめ、首都圏の学生等の県内就職促進、移住支援金・地方就職支援金の支給による東京23区からの就業・移住を促進
- 家庭の事情等による短時間勤務を求める女性や退職後の高齢者など、デジタル技術を活用した多様な労働力を発掘や、兼業・副業・スポットワーク人材活用セミナーの実施等で就職へと繋ぐなど、県内中小企業の人材確保を支援
- 地元企業と学校との連携により、地元企業紹介や先輩社員との意見交換会実施などによる高校生のキャリア形成支援、高校の進路指導担当教員向けのセミナーなどを実施し、若手人材の確保・定着を推進(R6参加者数 高校生:1,103人 進路指導担当教員:172人)



企業×学生ミモザセッション



高校生向け  
キャリア支援セミナー



自分らしく生きられる社会

# 居場所のある社会

## ■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

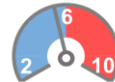
- 「職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場があるか」は、年代間の差が大きく、30代～50代において、家庭・職場等以外の「居場所」と感じられる場が少ない印象。
- 「地域で多世代のつきあいがあるか」は、多自然地域が概ね高い傾向。
- 「頼りになる人が近所にいるか」は、全体的に高い水準にあるものの、神戸・阪神地域が他と比べて低く、都市部における人間関係の希薄さを感じている方が多いと伺える。

### 設問 8

あなたには、職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場がありますか

全体平均

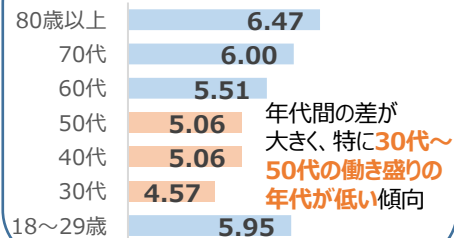
5.55



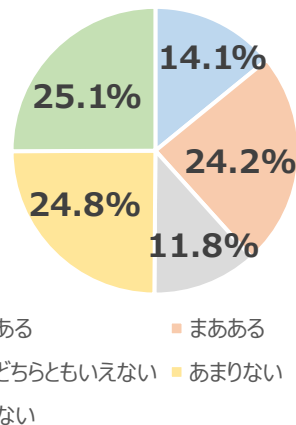
#### 性別



#### 年齢別

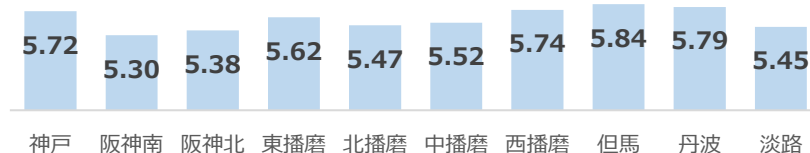


#### 回答割合



#### 地域別

地域による差は小さくなく、都市部と地方部の間に顕著な差は見られない

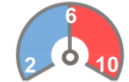


### 設問 9

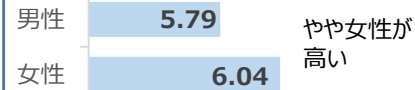
あなたは、住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがありますか

全体平均

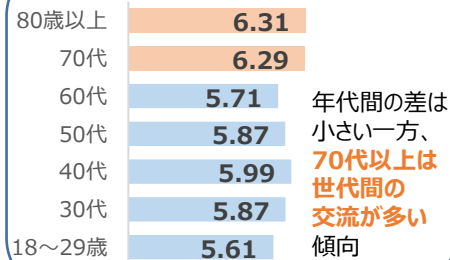
5.98



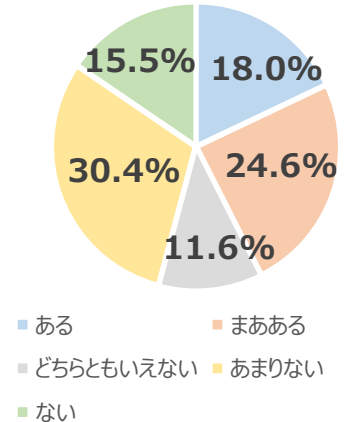
#### 性別



#### 年齢別

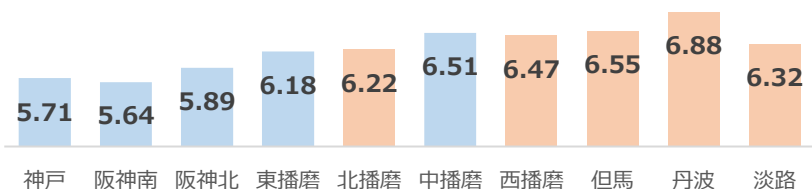


#### 回答割合



#### 地域別

地域による差はやや大きく、かつ、比較的**多自然地域**が高い傾向





自分らしく生きられる社会

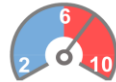
# 居場所のある社会

## ■兵庫のゆたかさ指標

設問10

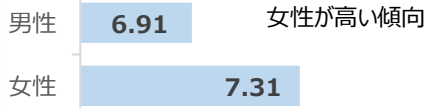
あなたには、知人や親戚など頼りになる人が近所にいますか

全体平均

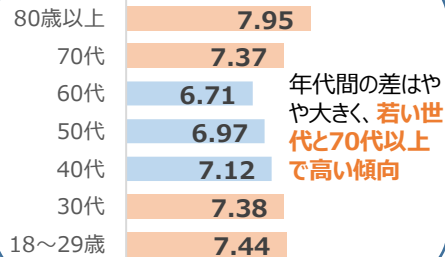


# 7.21

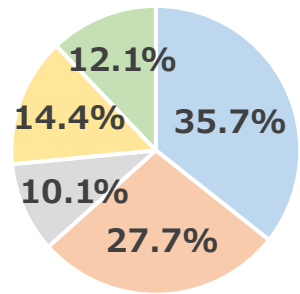
### 性別



### 年齢別



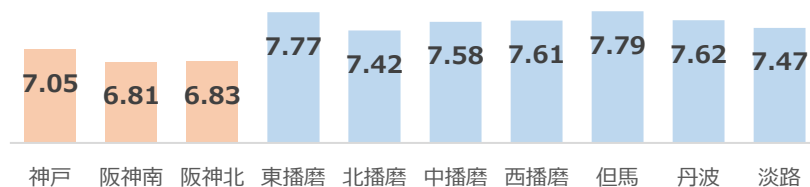
### 回答割合



■ いる                      ■ どちらかといえばいる  
 ■ どちらともいえない    ■ あまりいない  
 ■ いない

### 地域別

地域による差はやや大きく、特に神戸・阪神地域の都市部において低い傾向

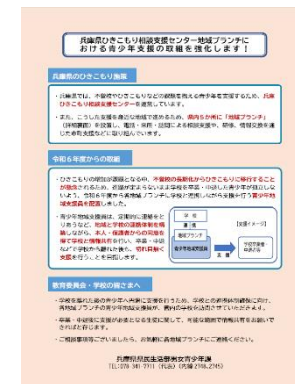


## ■主な県の取組

- 5年度に開催した「ひきこもり支援連携検討会議」での委員提言を踏まえ、支援団体等の運営力向上に向けた研修の実施や、ネットワーク構築による情報共有体制の強化、特色のあるオンライン居場所の設置など、ひきこもり支援施策を充実・強化
- 経済的な理由等により食事が十分に取れていない子どもに食事を提供する「子ども食堂」の立ち上げ経費の助成や、ヤングケアラー・若者ケアラーの早期発見、悩みの相談支援、福祉サービスへの円滑なつなぎ等のための支援体制構築を推進 (R6子ども食堂支援件数:13件、R6兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口相談件数:577件)
- 依存症に関する正しい知識の理解を進め、適切な支援や治療につなげていくため、自助グループ等への活動支援を行うとともに、理解増進に向けた啓発事業を実施 (R7自助グループ等への補助件数:10件 (R8.3.1時点))
- 不登校児童生徒の中学校卒業・高校中退等の後も、適切な支援へ円滑に接続するため、学校と連携し個別対応を行う青少年地域支援員を県内の支援拠点に配置し、学校との連携体制構築・情報共有を行いながら、相談支援を実施



子ども食堂



ひきこもり相談支援センター  
広報ポスター



自分らしく生きられる社会

# 世界へ広がる交流

## ■兵庫のゆたかさ指標

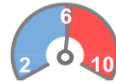
評価の概要

- 「自慢したい地域の宝があるか」は、全体的に高い水準にあるものの、地域間での差が大きい。全地域で高くなるよう、地域資源を活かした魅力創出に繋がる取組が必要。
- 「外国の文化や人々に接してみたいか」は、高齢になるほど低くなる傾向で、地域では神戸が特に高い。
- 「外国人にも暮らしやすい環境か」は、都市部と比べて多自然地域が低い。外国人県民の増加傾向も踏まえつつ、これまでの多文化共生に資する取組の充実が必要。

### 設問11

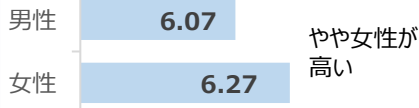
お住まいの地域には、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)がありますか

全体平均

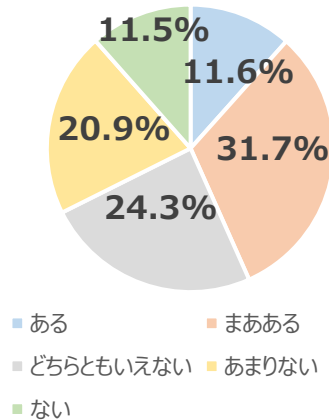


# 6.22

#### 性別



#### 回答割合

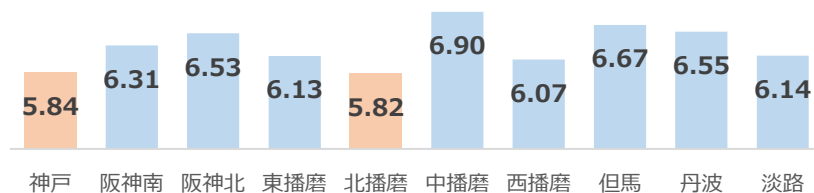


#### 年齢別



#### 地域別

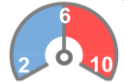
地域による差は大きく、特に神戸と北播磨において低い傾向



### 設問12

あなたは、外国の文化や人々と接してみたいと思いますか

全体平均

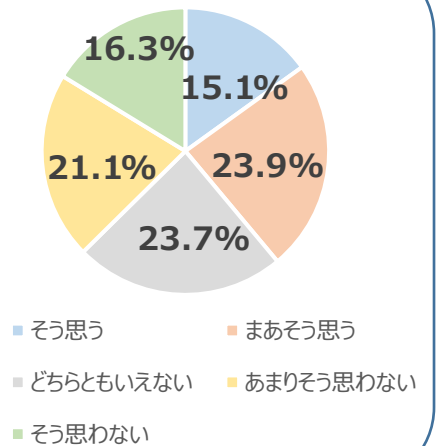


# 6.01

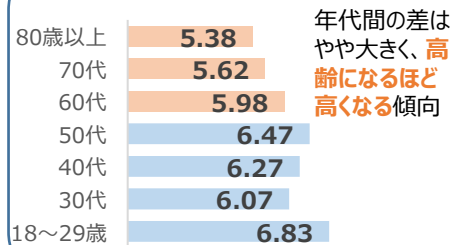
#### 性別



#### 回答割合

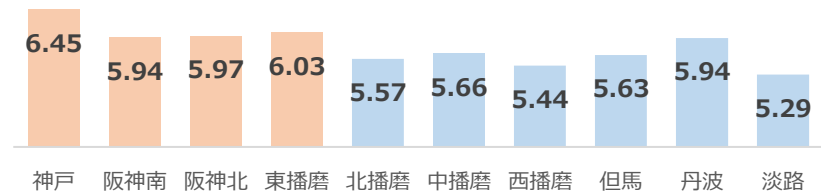


#### 年齢別



#### 地域別

地域による差はやや大きく、比較的都市部が高い傾向





自分らしく生きられる社会

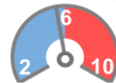
# 世界へ広がる交流

## ■兵庫のゆたかさ指標

設問13

お住まいの地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思いますか

全体平均

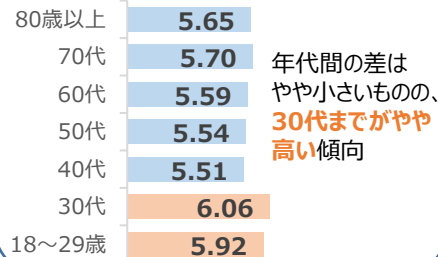


# 5.67

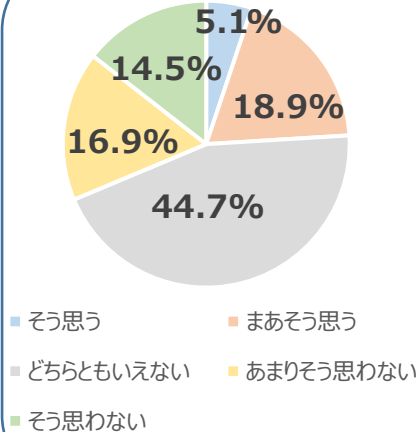
### 性別



### 年齢別

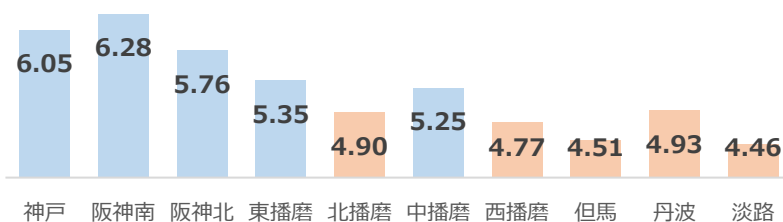


### 回答割合



### 地域別

地域による差は大きく、都市部に比べて多自然地域が特に低い傾向



## ■主な県の取組

- 「ひょうごフィールドパビリオン」について、プログラム提供者やサポート人材の育成等によるコンテンツの磨き上げに加え、国内外の旅行博への出展などによる積極的なプロモーションを展開したほか、万博会場でプログラム提供者が一堂に会するフィールドパビリオンフェスティバルの開催などを通じ、万博来場者に兵庫の魅力を発信（認定プログラム(R8.12.25時点:270件)、プレミアム・プログラム(R5.11.30時点:9件)）
- 大阪・関西万博を見据え、関西圏への旅行を検討している外国人観光客を取り込むため、デジタルマーケティングによる誘客促進や、観光型Maasを活用した周遊観光を推進
- 神戸空港国際化などを見据え、魅力ある体験コンテンツの造成及びターゲット国の嗜好や興味に応じたプロモーションを展開
- 高度な技術力や知識を有する外国人留学生の県内就職を促進するため、留学生の採用を検討する県内企業や留学生本人からの相談に対応し、採用から採用後の職場定着までを支援する「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」を設置(R6相談件数:県内企業から96件、外国人留学生から90件)
- すべての人が安心して暮らし活躍できる多文化共生社会の実現に向けて、外国人が安心して就職し、定着できるよう、働く環境が整った企業を認定するひょうごグローバル人材活躍企業認定制度を創設。



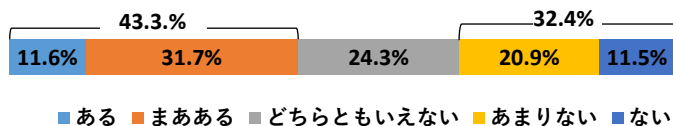
ひょうごフィールドパビリオン  
海外プロモーション



現地旅行博への出展

## トピックス アフター万博における兵庫の魅力発信

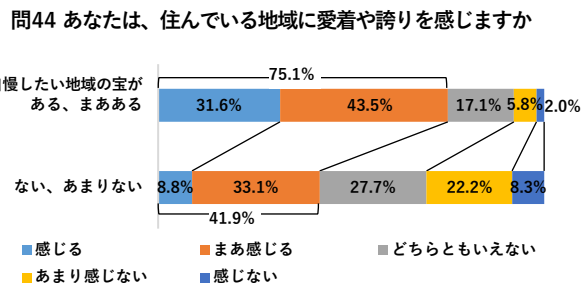
問 11 お住いの地域に自慢したい地域の宝(風景や産物、文化等)がありますか



### ◆地域への愛着や誇りーシビックプライド

「自慢したい地域の宝があるか」に肯定的な回答した人の75.1%が、「住んでいる地域に愛着や誇りを「感じる」「まあ感じる」と回答。

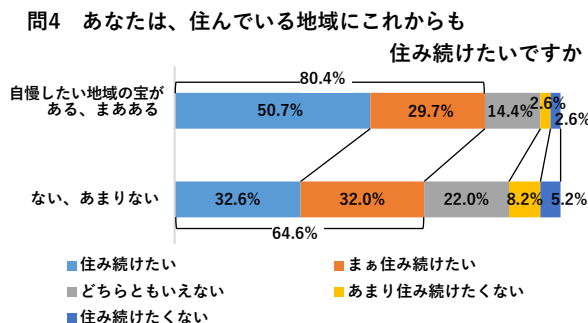
「ない」「あまりない」の41.9%を大きく上回っている。



### ◆地域に住み続けたい

「自慢したい地域の宝があるか」に肯定的な回答した人の80.4%が、「住んでいる地域にこれらかも住み続けたい」と「感じる」「まあ感じる」と回答。

「ない」「あまりない」の64.6%を大きく上回っている。



### ◆地域資源の磨き上げと魅力の発信の重要性

魅力的な地域資源があり、それらをしっかりと住民が認識し、知られていることは、その地域での愛着やシビックプライドの醸成に結びついていることが伺える。また、そのことが地域の一員として、地域を良くしていきたい、住み続けたい気持ちへと繋がっている。あわせて、観光などによる交流人口の増加、更なる地域活力の高まりなど、地域資源の磨き上げと魅力の発信により、好循環を構築していくことが重要。

## 未来につなげる万博レガシーの展開



ひょうごフィールドパビリオン

### ○ ひょうごフィールドパビリオンの展開の加速

- ・大阪・関西万博の検証結果を踏まえ、得られた教訓をレガシーとして多様な分野へ展開
- ・ひょうごフィールドパビリオンの一層の魅力向上を図るため、新たな商品化に向けた支援や、国内外へのプロモーションを実施
- ・子どもたちのシビックプライド醸成、未来を考える「きっかけ」づくりに繋がる体験ツアーを実施



▲フィールドパビリオンを軸に兵庫の魅力を紹介するイベント(イメージ)



▲兵庫の地域資源に触れる子ども向け体験ツアー(イメージ)

### ○ フィールドパビリオンに関連した食材流通の拡大

- ・全国展開の飲食店で、フィールドパビリオン関連の県産食材<sup>※</sup>を活用したグルメフェアを開催

※イメージ：淡路島たまねぎ、兵庫県産山田錦、兵庫丹波黒、コウノトリを育むお米 等

### ○ 万博を通じて生まれた協力関係の継続と発展

- ・県内地場産品の更なる海外需要を高めるため、産地間でのコラボレーション商品の開発支援や、地場産業のPR、販売イベントを実施



▲コラボレーション商品の例(豊岡靴×播州織)



▲PR・販売イベント(イメージ)